

安全計装ワークショップ 2020

～ リスクアセスメントから安全度水準(SIL)決定方法の考え方を理解するためのセミナー ～

ごあいさつ

開催のご案内

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

プロセス産業における事故の背景として、リスクの評価と対策さらに理解が不十分であることが挙げられています。有効なリスク低減対策である機能安全の達成には、ユーザ側でも、IEC 61511-1に準拠した安全計装システムを構築する必要があります。安全計装システムには安全度水準(SIL)が要求されます。

本ワークショップは、リスク評価から必要なSILを決定するための指針であるIEC 61511-3に関する講演および演習を通して、安全計装システム構築に必要な基本的な考え方をご理解いただくことを目的としております。演習は少人数のグループ制で、機能安全調査研究WGのメンバーが懇切丁寧に対応致します。

皆さまのご参加をお待ちしております。宜しく願い申し上げます。

JEMIMA 産業計測機器・システム委員会 機能安全調査研究WG 主査:板垣 満

開催日時・会場

- ◆日程 2020年2月28日(金) 10:00 ~ 17:00 (受付:9:30開始)
- ◆場所 JEMIMA 計測会館 401号室
- ◆定員 30名
- ◆参加費用(先払い) 6,000円(税込)
- ◆申し込み方法 JEMIMA ホームページからお申し込みください。
(振込方法についてはこちらから御案内致します。)
<https://www.jemima.or.jp/>
定員になり次第、受付終了とさせていただきます。ご了承ください。
演習には電卓(スマホ代用可)をお持ちください。関数電卓は不要です。

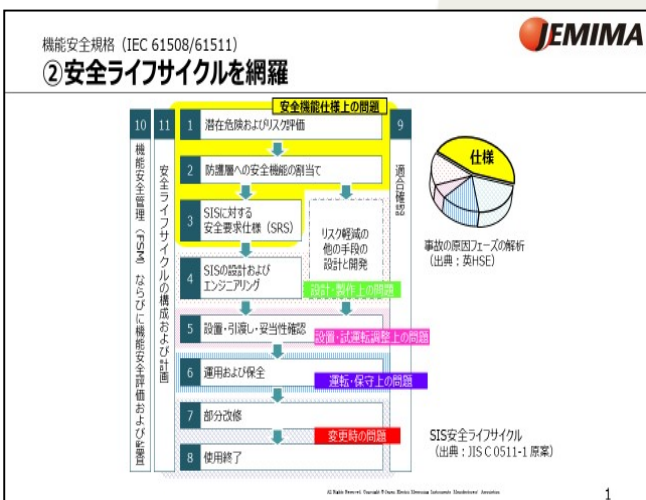
プログラム(予定)

◆開会・主催者挨拶	機能安全調査研究WG 主査 板垣 満	10:00~10:10
◆講演	機能安全とIEC61511-3 について	10:10~12:10
	(昼食・休憩 昼食は各自でお願い致します。)	12:10~13:30
◆演習	IEC61511-3 附属書の説明と関連の演習 (10名までのグループ単位で実施)	13:30~17:00
	指導:機能安全調査研究WG	担当一同

開催風景



安全ライフサイクル・防護層解析 (LOPA)



防護層解析 (LOPA) : プロセスの潜在危険解析分析ツール

附属書Fは、防護層解析 (LOPA) について示す。この手法は、潜在危険の同定により生成されたデータから始まり、初期発生原因、潜在危険の回避または軽減する防護層を文書化する事によってそれぞれの潜在危険を明らかにする。続いて総合的なリスク軽減量を決定し、更なるリスク軽減の必要性を分析する。追加リスク軽減策を必要とし、それをSIFの形で提供できる場合、LOPA手法は、SIFに対する適切なSILを決定できる。

この附属書は、当該手法についての限定的な説明を行うのではなく、一般的な原則を示した概説であることを目的とする。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
発生率 F1 F1.02	防護層 F2 F1.32	防護層 F3 F1.4	防護層 F4 F1.53	防護層 F5 F1.54	防護層 F6 F1.55	防護層 F7 F1.56	防護層 F8 F1.57	防護層 F9 F1.58	防護層 F10 F1.59	防護層 F11 F1.60
1	5	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
1	5	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1

次ページに各項目の概要を記載

図 F.1 防護層解析 (LOPA) レポート

会場のご案内



交通のご案内

JEMIMA本部(計測会館)

- ◆東京メトロ 半蔵門線
水天宮前駅(5出口) 徒歩3分
- ◆東京メトロ 日比谷線
人形町駅(A2出口) 徒歩7分
- ◆都営浅草線
人形町駅(A3出口) 徒歩10分

※会場に駐車場はございません。

お問い合わせ先



一般社団法人 日本電気計測器工業会
Japan Electric Measuring Instruments Manufacturers' Association
〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町2-15-12
(計測会館)

安全計装ワークショップ
事務局: 井上、松元
kenichi_inoue@jemima.or.jp
toshiyuki_matsumoto@jemima.or.jp

※セミナー内容については、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。